

国道4号北上拡幅、国道46号盛岡西バイパスの全線4車線開通について

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

1. はじめに

岩手河川国道事務所では、岩手県内陸部を縦断する国道4号および国道46号の2路線、計約235kmを管理しており、現在、バイパスなどの改築事業7事業に加え、交通安全事業、電線共同溝事業、維持修繕事業を推進しています。

所管地域のうち、県南エリアは自動車産業や半導体関連産業の集積が進む地域であり、また、県都・盛岡市を擁する県央エリアは隣県へのアクセス性の良さから、近年、物流拠点の立地が進んでいる地域となっています。さらに、沿線には世界遺産「平泉」や「御所野遺跡」、そして「小岩井農場」など、岩手を代表する観光地が点在しており、国道4号・国道46号は、物流効率化による生産性向上や観光地への円滑なアクセスを支えるなど、地域経済の好循環にとって重要な役割を担っています。

今年度は、管内で進めている改築事業のうち、国道4号北上拡幅および国道46号盛岡西バイパスが全線4車線開通しました。本稿では、両事業の経過や期待される整備効果について紹介します。



国道4号北上拡幅（令和7年12月6日開通後）



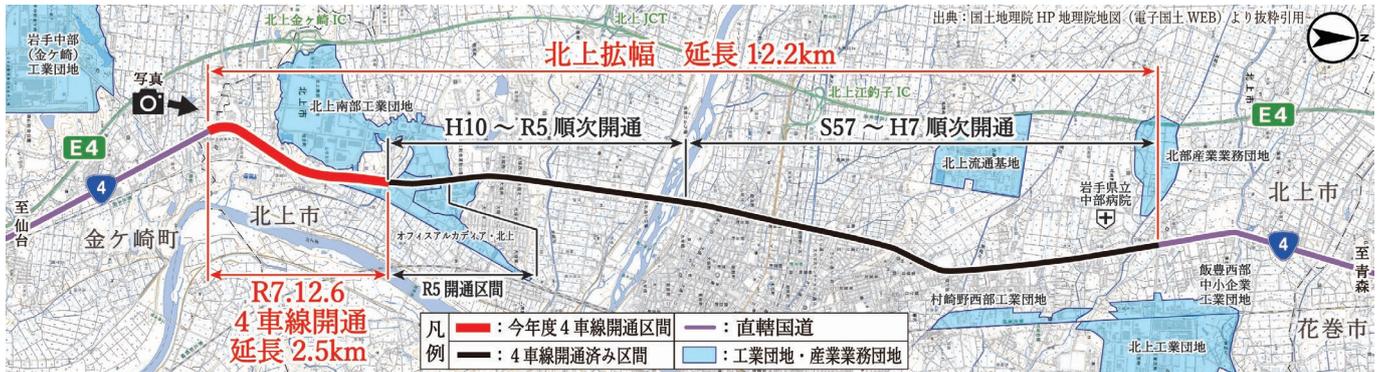
国道46号盛岡西バイパス（令和7年11月29日開通後）

2. 事業の経過と期待される整備効果

(1) 国道4号 北上拡幅

北上拡幅は、岩手県北上市相去町から同市村崎野までの延長12.2kmを対象とした現道拡幅事業であり、国道4号の交通混雑の緩和や交通安全の確保、沿道環境の改善に加え、沿線の工業団地に集積する企業の円滑な物流を支援することを目的として、昭和57年度に事業に着手しました。

事業は終点側から順次開通を進め、令和7年12月6日に最後の区間となる起点側延長2.5kmが開通したことで、全線が4車線で開通しました。

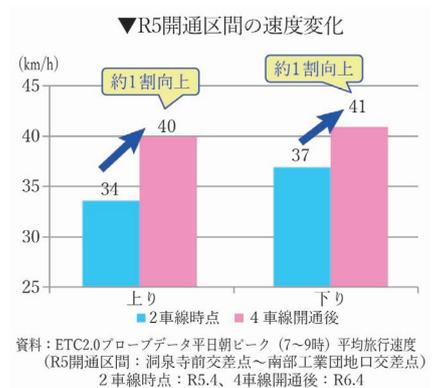
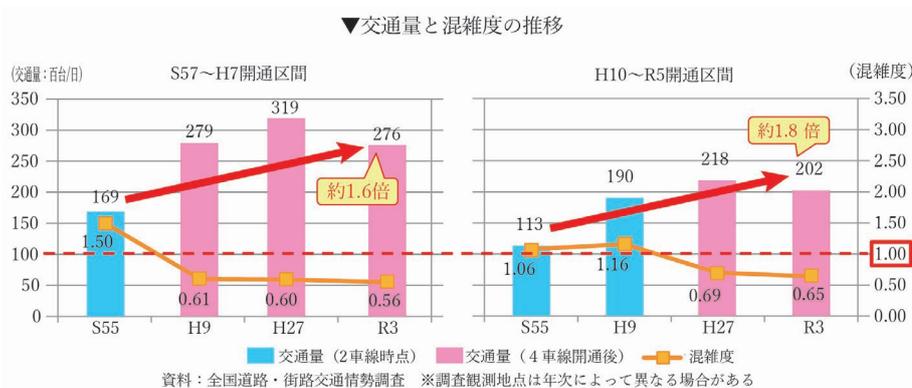


先に述べたとおり、北上市が位置する県南エリアは自動車や半導体など、東北有数の産業集積地になっており、国道4号は主要な物流ルートになっています。

沿線地方公共団体は工業団地整備と企業誘致を積極的に展開し、北上拡幅の整備とともに、岩手県の経済を牽引する地域に発展しました。



北上拡幅の事業区間では、この40年間で交通量が約1.6～1.8倍に増加しました。一方、4車線開通区間では混雑度が着実に低減し、渋滞緩和が図られています。今年度の全線4車線開通により、さらなる混雑緩和や旅行速度の向上が期待され、物流の効率化が一層進むことで、地域経済の好循環にも寄与するものと考えられます。

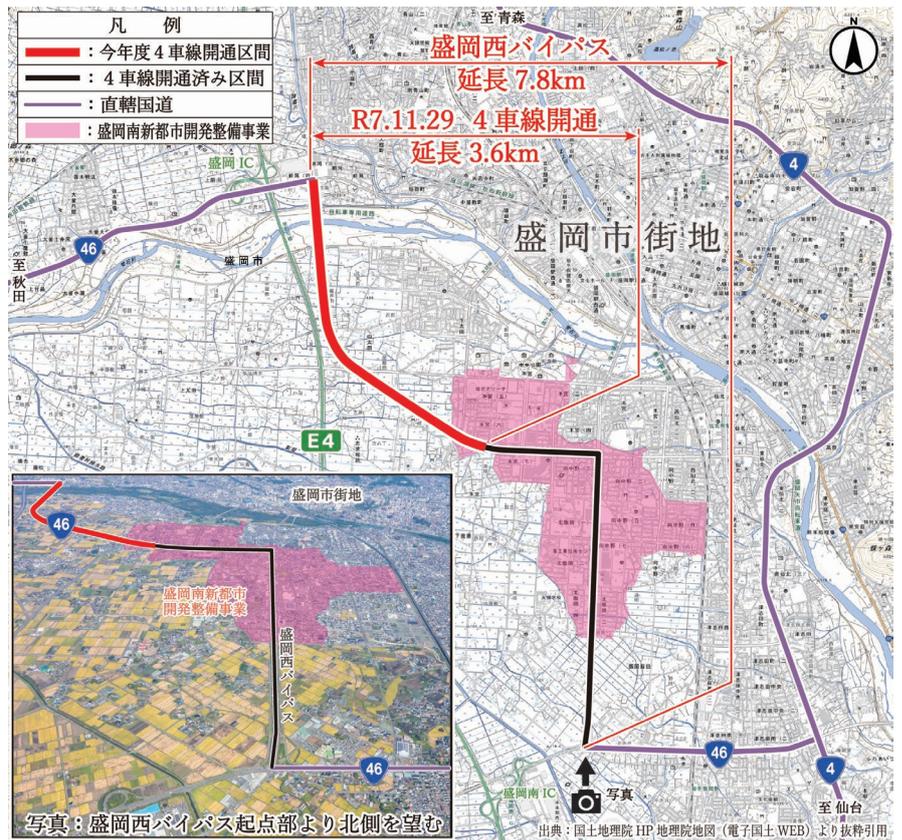


(2) 国道46号 盛岡西バイパス

盛岡西バイパスは、岩手県盛岡市永井から同市上厨川までの延長7.8kmを対象としたバイパス事業であり、盛岡市内の交通分散による混雑緩和や交通安全の確保、沿道環境の改善などを目的として、昭和59年度に事業に着手しました。

終点側から順次開通を進め、平成25年12月に起点側延長4.2kmが4車線で、終点側延長3.6kmが2車線で開通しました。

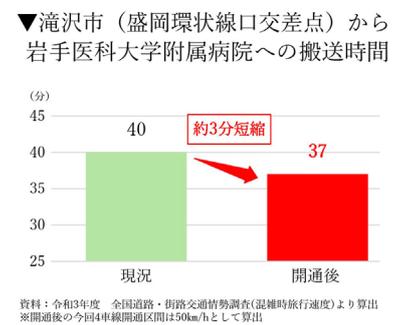
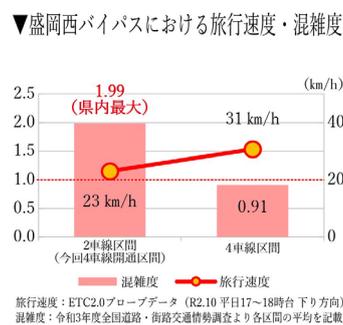
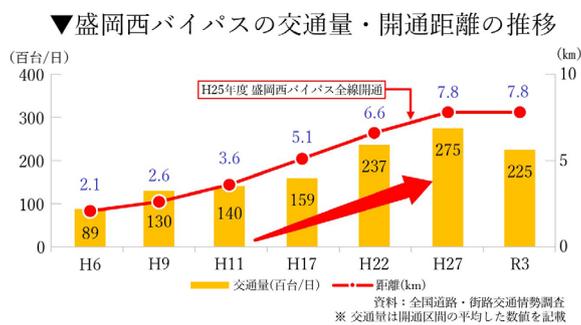
翌年度からは、2車線区間について、4車線化整備に着手し、令和7年11月29日に全線4車線で開通しました。



盛岡西バイパスの沿線では、大規模な土地区画整理事業である盛岡南新都市開発整備事業が進められ、バイパスの整備とともに戦略的に整備が実施されました。

現在は、盛岡市の新たな拠点として機能する地域となっており、盛岡西バイパスも様々な用途で、多くの方々に利用していただいています。

盛岡西バイパスの整備が進んだことで、盛岡市内の交通が分散され、並行する国道4号の混雑緩和が図られました。また、事業目的の一つである救急医療支援の面でも、バイパスの開通によりアクセス性が向上し、今年度の全線4車線開通によって、より迅速で安定した救急搬送の実現が期待されます。



今年度4車線開通区間は岩手県内直轄国道の中で混雑度が最大 → 混雑緩和による利便性向上が期待される

3. 開通に向けた広報などの取り組み

今回、北上拡幅および盛岡西バイパスでは、開通式典は実施しませんでした。いずれも事業期間が40年を超える長期にわたる事業であり、これまで事業にご理解とご協力をいただいた沿線地域の皆様へ感謝の意をお伝えする場として、現地説明会を開催しました。

現地説明会では、事業の経過、沿線状況の変遷、整備効果などについて、パネルを用いた説明を行いました。当日は、沿線自治会や企業の皆様、報道関係者、地元公共団体など多くの方々にご参加いただき、参加者からは事業への感謝の声や、隣接する事業中区間の早期整備に対する期待の声が寄せられました。

▼現地説明会の様子（北上拡幅）



▼現地説明会の様子（盛岡西バイパス）



4. おわりに

この度の両事業の全線4車線開通にあたり、長きにわたり事業にご理解とご協力を賜りました地元住民の皆様および関係機関の皆様へ、心より厚く御礼申し上げます。

今後とも、ダブルネットワークの強化や物流効率化による地域経済の好循環の実現を目指し、国道4号のバイパス整備や4車線化をはじめとした道路事業を着実に推進してまいります。